

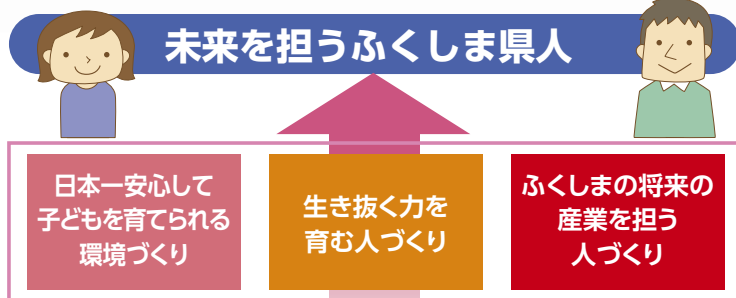


# 未来を担う子ども・若者を 育てるために



8月21日 県庁子ども参観デー

## 未来を担う子ども・若者育成プロジェクト



社会全体で子育て・教育を応援

### 目指す姿

- 子育てしたいと思えるような環境が整備され、安心して生活ができる。
- 心豊かに育った子どもたちが、ふくしまの再生を担っている。

県では、ふくしまの再生を担う子どもたちが心豊かにたくましく育つために、子育てをしやすい環境づくりをさまざまな方面から進めています。ここでは社会全体で子育て・教育を応援していくための主な取り組みについてお知らせします。

日本一安心して子どもを育てられる環境づくり

本県では以前から、子育てしやすい環境づくりを進めていましたが、東日本大震災、原子力災害は子どもたちの生活環境に深刻な影響を及ぼし、放射性物質による健康への不安などから、子どもや親を取り巻く状況が大きく変化しました。

子どもたちの健康を守り育てやすい環境を整備し、子どもたちが安全で安心な生活を取り戻すため、子どもの医療費無料化など、本県独自の取り組みを進めています。

また、ふくしまの未来を担う人づくりに向けて「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランス良く育て、心豊かにたくましく生き抜く力を育むための教育を推進しています。

子ども・若者の育成に全力を注ぎ、子どもたちの笑顔があふれるふくしまを創りあげ、「日本一安心して子どもを育てられる県」を目指します。

知事  
メッセージ

子どもたちの笑顔あふれる  
「ふくしま」の再生に向けて

福島県知事 佐藤 雄平

● 原発事故の発生以降、慣れ親しんだ学舎や級友と別れての避難生活をはじめ、福島の子どもたちを取り巻く環境は一変しました。事故から一年半を迎え、学校や公園など子どもたちの身近な施設の除染が進み、子どもたちの明るい声も聞こえるようになりました。しかし、不安を抱えての生活はまだまだ続いております。

そうした中にも、子どもたちは、ふるさとへの思いや未来への希望をしっかりと抱いています。文化やスポーツでふるさと福島を元気にしたいと、目覚ましい活躍を見せる子どもたち。「これからも福島に住み続けたい」「福島で人の役に立ちたい」と力強く語りかける子どもたち。こうした子どもたちの思いに応えるためにも、健やかに成長できる環境づくりを進めていかなければなりません。

県では、「日本一安心して子どもを生み育てやすい県づくり」を復興計画の柱の一つにしました。これを実現するため、10月から全国初の取り組みとなる「18歳以下の医療費無料化」を始めます。

また、夢に向かい挑戦する意欲と創造力にあふれた、たくましい子どもを育てるため、知・徳・体のバランスのとれた教育と、学校・家庭・地域が一体となった取り組みを進めてまいります。

子どもたちは福島のお宝であり、未来そのものです。将来、「福島に生まれ育ち、住んで、本当に良かった」と思ってもらえるよう、子育て・教育環境のさらなる充実、「ふくさと・ふくしま」の再生に全力で取り組んでまいります。



生まれたその日から成長を支えていく

復興の担い手となる子どもの健康を守り、子どもを育てやすい環境づくりを進める



出産や子育ての「安心」を支える  
【ふくしまの赤ちゃん電話健康相談事業】

子どもの安心を守る

妊婦さんや乳幼児の健康や育児、母乳などに関する不安や悩みに、助産師が答えます。希望者には母乳検査も無料で行います。

■相談電話

福島 / ① 024(573)0211、② 080(2835)9988

会津 / 0242(85)8303

いわき / ① 080(2826)4604、② 080(2827)3005

■相談時間 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）  
午前9時30分～午後4時30分



子どもの医療費無料化  
【子どもの医療費助成事業】

子どもの健康を守り、安心して子どもを生み、育てやすい環境づくりを進めるため、子育て支援策として、医療費助成の対象年齢拡大を図ることにしました。

現在、子どもの医療費の助成対象年齢は市町村によって異なっていますが、10月1日より18歳まで（18歳に達する年度の3月末日まで）に拡大、統一します。

子育てを支える



社会全体で子どもを育てる  
【地域の子育て活動への支援】

子育てを支援する人材を育成するとともに、市町村や民間団体が実施する各種事業に補助。「地域の寺子屋」を推進し、地域で知恵と経験がある方と、子どもとその親が交流することで、社会全体で子どもを育てます。

遊び場では子ども達の元気な声が響いています。



親の声

・楽しく子どもが遊んでいるのを見て、親としてもうれしかった。  
・安心して遊ばせられる場所があるのありがたい。

・広いところで思い切り遊べたのがよかった。  
・砂場で遊んだのが楽しかった。  
・友達ができてうれしかった。

子どもの声



子どもをのびのび遊ばせる  
【屋内遊び場確保事業】

子どもたちが安心して遊ぶことができる屋内遊び場の整備を進めています。

★屋内遊び場の情報はこちらから…

福島県 屋内遊び場一覧

検索

子どもの笑顔を応援



子どもの体験活動を応援する

【ふくしまっ子体験活動応援補助事業】

心身ともにリラックスできる環境の中で、子どもたちの体験活動を実施する学校・団体などを支援します。

【ふくしまっ子自然の家体験活動応援事業】

「郡山自然の家」と「会津自然の家」で子どもたちの自然体験活動を応援しています。



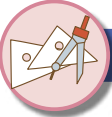
とても楽しいよ



# 復興のキは理数教育にあり！

再生可能エネルギーの研究や医学の現場などで活躍できる人材の育成に向けて

県では、小学生の算数・科学に対する興味・関心を高めるとともに、数学的な考え方や科学的な考え方を育てるため、小学生の理数教育に力を入れています。その取り組みの一つとして、夏休み期間中に理科、算数ともにそれぞれ3会場で小学4～6年生を対象とした講座を開催し、大変な人気を呼びました。その活気ある様子をご紹介します。



## 小学生算数講座 8月11日(土)・福島大学にて開催

テーマ

形の違う図形の広さを比べる工夫、見た目の違う物の重さを比べる工夫、鏡を使った図形の広がり体験など



▲鏡の中の不思議な世界をのぞいてみよう。

図形や立方体を使った授業では、グループごとにみんなで考え、答えをまとめます。友達と仲良く協力し、答えを見つけていく算数の楽しさを感じているようでした。アンケートでは、「算数って計算だけかと思っていた」「算数っておもしろい」「算数が好きになりました」という意見を多くいただきました。



▲ペットボトルとビー玉はどちらが重いのかな。

参加者の声

千葉 恵里子さん  
花さん (小5)



- 恵里子さん：子どもがぜひ参加したい、と希望したので応募しました。子どもも先生も保護者も楽しめる授業でした。普段だと、机の上や教科書の中だけでの勉強になりがちですが、手で触れて感じて考えて…と、広い視野で学習できました。
- 花さん：楽しかった！見た目で軽いか?と思ったものが重かったり、いつも背負って重かったりと思っていたランドセルが実は軽かったり、びっくりしました。実際に測って比べてみて、楽しかったです。



藤島 仁太郎さん  
(小5)

みんなで考えたりすることが楽しかった！想像した重さと全然違っていたものがあって驚きました。



## 小学生理科講座 8月20日(月)・いわき明星大学にて開催

テーマ

地球温暖化や再生可能エネルギーについて

いわき明星大学の先生から、地球温暖化や再生可能エネルギーに関連する話を聞き、省エネやエネルギーを生み出す大切さを学ぶことができました。また、温度差を利用して電気を起こし風車を回す実験や、燃料電池やバイオエネルギーで走る車に試乗するなど、最先端の研究に触れ未来に夢をはせる講座となりました。



▲燃料電池によって走る車に試乗

参加者の声

児童の感想

- ぼくはもともと地球環境や科学に興味をもっていました。でも再生可能エネルギーについてはあまり知らず、知らずともしませんでした。でも、すごく大切なことだと実感しました。いい話がたくさん聞けたり、楽しくできたので大満足です。(小6.男子)
- 授業がとても分かりやすく楽しくできました。私は理科が苦手でしたが、実験や体験をすることによって、すごく楽しく感じました。今日、参加して良かったです。(小6.女子)

保護者の感想

- 大学の先生の講義を受講するという機会に恵まれ、本格的な実験器具と生活に密着した実験の感動が、子どもたちの表情から読み取れました。
- 大人の私も子どもに戻った気持ちで楽しく学ぶことができ、楽しく貴重な体験をさせていただきました。
- 子どもが夢中で取り組んでいる姿や、生き生きした表情を見ることができ、参加できて良かったと思います。
- 月に1回ぐらい講座を開催してほしいと思いました。